

# 家庭菜園相談室

## 今月のテーマ

## 人気上昇中!カラフルなカリフラワーの栽培に挑戦

図1 作型目安

		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
夏まき	秋冬どり		△	○	□	□	□	□	□	□			
	早生		△	○	□	□	□	□	□	□			
冬まき	早生		△	○	□	□	□	□	□	□	□	□	
	中晩成		△	○	□	□	□	□	□	□	□	□	
春まき	極早生							△	○	□	□	□	□

△ 播種 ○ 植付け ▲ ハウスで播種・育苗 □ 収穫

※同じ作型（早生・晩生など）でも品種により収穫時期などが異なるためラベルをよく確認する

### ●カリフラワーの旬は冬

カリフラワーはブロッコリーと同じアブラナ科です。収穫時期を変えながら全国で栽培され、真夏を除きほぼ通年出荷しています。出荷量は秋頃から増え始めますが、最も美味しい旬は、冬の寒い時期（11月頃から3月頃まで）になります。ビタミンC・カリウムが豊富です（疲労回復・風邪予防・高血圧に効果）。

最近では、カラフルなカリフラワーも出てきました。白・オレンジ・グリーン・紫色と黄色のロマネスコ、カリフローレという茎カリフラワーもあります。

### ●作ってみたい品種

- スノークラウン：大玉で純白。肉質緻密な早生種。
- プライダル：寒さに強く、草勢が強いので作りやすい。中早生種。
- オレンジ美星：光に当たるとオレンジ色に。みずみずしく食味が良い。早生種。
- バイオレットクイン：花蕾が濃紫色。ゆでると鮮緑色に変わる早生種。
- ロマネスコ：甘みがあり、クセのない味が特徴でサラダなどにして食べるのが人気。

**栽培適性**：pHは、6.0～6.5。排水性や保水性が良く、肥沃な土壌を好む。過湿・高温に弱い。

**連輪作**：1～2年以上の輪作が良い。連作[アブラナ科（白菜・キャベツ）]により根こぶ病が発生しやすい。

**栽植密度**：幅幅120 $\frac{1}{2}$ 、条間50 $\frac{1}{2}$ の2条、株間30 $\frac{1}{2}$ 、畝高10～20 $\frac{1}{2}$ （耕土が浅い場合は高畝にする）。

**畑の準備**：植付けの2週間前に苦土石灰100 $\frac{1}{2}$ /㎡と完熟たい肥1 $\frac{1}{2}$ /㎡を、植付けの1週間前に化成肥料（畑作名人）120 $\frac{1}{2}$ /㎡を施す。

**植付け**：葉数が4～6枚の苗を植付ける。根鉢の上面と畝の表面が同じ高さになるように植付け株元にたっぷり水をやる。植付け後は防虫ネットのトンネルをかける。また、定植前に育苗セルトレーへ農薬の灌注処理を行うことで、初期の発生害虫を防ぐことができる。

**追肥・培土**：追肥（化成肥料40 $\frac{1}{2}$ /㎡）は中耕・培土をかねて（定植から30～40日後）行います。

**遮光**：カリフラワー（純白系）は花蕾が直射日光や霜に当たると黄色っぽくなるので、外葉をヒモで縛り、花蕾を保護する。風の弱い畑では、外葉の元を折り曲げて花蕾に被せるだけでも良い。

**収穫**：花蕾が直径13～15 $\frac{1}{2}$ になったら収穫する。花蕾の表面が滑らかな時が収穫適期です。



○スノークラウン



○オレンジ美星



○バイオレットクイン



○ロマネスコ

家庭菜園に関する相談は、TAC（タック）、支店営農経済担当者までご連絡ください。